

まちづくりアンケート自由意見への対応

No	自由意見	町の考え方
1	花木に税金を使うなら、他にも道路や子育て支援等、やるべきことがたくさんあると思う。	令和８年度における歳出予算で一番多いものは、高齢者や障がい者に対する福祉及び子育て支援で約５２億円、道路整備などの土木費は約２０億円で３番目に多くなっています。観光整備については、主に観光物産交流館や太陽の村の指定管理料が５千万円で９番目となっています。 花木代は、企業などからの寄附金を活用します。
2	柴田町にも大河原町の中核病院のような総合病院があると良い。	１つの自治体で総合病院を持つことは困難ですので、平成１４年に柴田町、大河原町、村田町、角田市の１市３町で、みやぎ県南中核病院を開設しました。 町民の皆様の高度医療を支える重要な医療機関であるため、柴田町は令和８年度当初予算で、３億９千万円余りの運営負担金を支払っています。
3	他の市町村に比べて住民税や水道料金、介護保険料が高いと思う。	住民税は地方税法に基づいた全国一律の標準税率を適用していますので、柴田町だけが低いということではありません。 また、水道料金については、多くの人が利用する大都市と比べれば高いかもしれませんが、近隣２市７町における使用水量２０㎡での料金は４番目に安くなっています。 介護保険料においては、令和６年度から８年度の第１号保険料の平均月額が５，６００円となっていますので、全国平均６，２２５円、宮城県平均６，０９８円より低い水準となっています。

4	岩沼市や名取市のように町内を循環する市民バスを走らせて欲しい。	巡回バスを運行しても、現実には利用する人が少なく、各自治体は苦慮しているのが実状です。そのため柴田町では高齢者などの交通弱者の方のために、デマンド型乗合タクシーを導入した次第です。
5	回覧板やお知らせ版のデジタル化や役場の労働をデジタル化し、職員を減らして欲しい。	令和８年度から紙媒体による情報提供からＬＩＮＥ、メールなどによる電子媒体に重点を移していきます。 回覧板による情報提供は廃止しますが、電子媒体に慣れない方のために、広報しばたとお知らせ版を統合した広報紙を引き続き発行します。 デジタル化により自動化可能な業務では効率化が図られますが、住民のデジタルスキルには個人差があるため、デジタルとアナログの両方を使用していますので、業務量の削減には時間を要します。
6	子どもの保育料を無償にして欲しい。他の町では第２子から半額にしているところもある。	柴田町でも国の基準に基づく軽減措置は実施しています。 現在、県内で市町村独自の保育料軽減措置を実施しているのは７自治体です。財政が厳しい柴田町においては、今後の課題と受け止めています。
7	道路や歩道がデコボコし危険だ。また、白線が消えている。	町内には１，２５７路線で、約３４４キロメートルの町道があります。これは柴田町から東京までの距離に相当しますので、損傷の著しい箇所から優先的に舗装の打換などを実施しています。 年々、医療・福祉・子育てに係る経費が増え、社会インフラにかかる予算の確保が厳しい状況が続いています。ご理解をお願いします。

8	船岡城址公園でのファンタジーイルミネーションは無駄ではないか。	このイベントは、冬の風物詩として好評を博し、期間中1万人を超える観光客、特に子どもたちに人気のイベントとなっています。 イベント開催に係る予算は約533万円、電気料は約15万円です。令和5年度のイベント開催期間中のスロープカーの運賃収入は、約458万円となっています。
9	総合体育館などを使用する場合、料金が発生し使用しづらい。無料にしてもらいたい。	施設を維持管理するには費用がかかります。 町民の皆さんからいただいた税金で全てを賄うのではなく、利用者の方にも負担をお願いするのが公平だと考えています。
10	空き家が増え、雑草が繁茂している。町で空き家を把握し、その家族に手入れをするよう連絡して欲しい。	町では空き地、空き家の状態を調査し、土地の所有者等に適正な管理を行うよう文書でお願いしています。